



平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月10日

上場会社名 日本PCサービス株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6025 URL http://www.j-pcs.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家喜 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 赤井 進二 TEL 06-6734-7722
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第3四半期の業績（平成26年9月1日～平成27年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	1,878	△1.0	23	△83.5	13	△90.3	4	△94.7
26年8月期第3四半期	1,898	—	141	—	140	—	82	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	3.52	—
26年8月期第3四半期	79.08	—

(注) 1. 当社は、平成25年8月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、平成26年7月30日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年8月期第3四半期	906	417	46.0	314.27
26年8月期	703	287	40.8	276.05

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 417百万円 26年8月期 287百万円

(注) 当社は、平成26年7月30日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年8月期	—	0.00	—		
27年8月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年8月期の業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,612	8.0	135	12.3	121	0.5	70	6.9	56.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期3Q	1,327,700株	26年8月期	1,040,200株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	－株	26年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期3Q	1,234,064株	26年8月期3Q	1,040,200株

（注）当社は、平成26年7月30日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動が一服しつつあり、国内景気は全体として緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、物価上昇に伴う実質雇用者所得の減少により、個人消費は底堅い推移となっております。また、欧州経済の停滞や中国経済の減速等の海外景気の下振れによる影響も懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

情報通信分野では、スマートフォン、タブレット端末の普及率が高まりを見せる中、パソコンの国内出荷台数は減少傾向にあります。他方、光回線の「サービス卸」の提供開始などにより通信キャリア各社の会員サービスが多様化しつつあり、付帯サービスの品質向上による差別化で加入者獲得の競争が激化すると予測される状況となっております。

このような状況のもとで、当社は企業理念である「1人ひとりのお客様に最適なスマートライフを！」に基づき、Webマーケティング及び提携企業の開拓による集客力の向上に取り組むとともに、お客様の住環境に合わせたサービスをご提案することで顧客単価の向上に努めてまいりました。しかしながら、Webマーケティングの集客コストの悪化により、広告宣伝費が増加しており、利益においては前年同期に対して大幅な減少となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,878,493千円（前年同期比1.0%減）、営業利益は23,437千円（前年同期比83.5%減）、経常利益は13,682千円（前年同期比90.3%減）、四半期純利益は4,339千円（前年同期比94.7%減）となりました。

当社の事業は、パソコンやタブレット端末、デジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問又は電話で対応、解決するサービスの提供を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントであります。同事業はフィールドサポート事業と会員サポートセンター事業に区分され、売上高の状況は次のとおりであります。

① フィールドサポート事業

駆けつけサポートにおいて、札幌市及び広島市へ新規出店を行い、直営店対応エリアを拡大するとともに、顧客単価の向上に努めてまいりました。また、代行設定サポートにおいて、既存の受託業務では委託元企業からの受託件数が減少しておりますが、太陽光発電システムの施工事業及び太陽光パネルの販売開始により、既存の受託業務の件数減少を補う取り組みを進めてまいりました。これらの結果、フィールドサポート事業の売上高は1,684,403千円（前年同期比3.8%減）となりました。

② 会員サポートセンター事業

キャンペーン実施等の施策により、提携企業と会員獲得の促進に取り組み、また、当社の会員サービスである「アフターサービス保証」の会員獲得に努めてまいりました。これらの結果、会員サポートセンター事業の売上高は194,089千円（前年同期比31.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は906,627千円となり、前事業年度末に比べ203,338千円増加しました。

流動資産については751,149千円となり、前事業年度末に比べ172,424千円増加しました。これは主に、売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産については155,477千円となり、前事業年度末に比べ30,913千円増加しました。これは主に、無形固定資産、有形固定資産及び差入保証金などその他が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は489,364千円となり、前事業年度末に比べ73,219千円増加しました。

流動負債については372,952千円となり、前事業年度末に比べ109,664千円増加しました。これは主に、買掛金が増加した一方、未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債については116,412千円となり、前事業年度末に比べ36,444千円減少となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は417,262千円となり、前事業年度末に比べ130,118千円増加しました。これは主に、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	388,996	348,749
売掛金	117,112	302,471
商品	29,396	30,790
その他	45,767	74,858
貸倒引当金	△2,548	△5,719
流動資産合計	578,725	751,149
固定資産		
有形固定資産	42,128	50,423
無形固定資産	7,456	23,396
投資その他の資産		
投資有価証券	37,789	37,497
その他	37,190	44,159
投資その他の資産合計	74,979	81,657
固定資産合計	124,563	155,477
資産合計	703,288	906,627
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,424	184,344
1年内返済予定の長期借入金	49,774	49,248
未払金	53,965	73,069
未払法人税等	24,764	933
賞与引当金	11,599	3,074
その他	78,759	62,282
流動負債合計	263,287	372,952
固定負債		
長期借入金	141,285	107,480
その他	11,572	8,932
固定負債合計	152,857	116,412
負債合計	416,145	489,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,320	188,800
資本剰余金	109,820	173,300
利益剰余金	46,429	50,768
株主資本合計	281,569	412,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,574	4,393
評価・換算差額等合計	5,574	4,393
純資産合計	287,143	417,262
負債純資産合計	703,288	906,627

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,898,036	1,878,493
売上原価	1,112,598	1,134,227
売上総利益	785,437	744,266
販売費及び一般管理費	643,712	720,828
営業利益	141,724	23,437
営業外収益		
受取利息	33	65
受取配当金	112	118
受取保険金	1,032	126
受取手数料	538	1,279
受取地代家賃	-	1,033
雑収入	1,623	1,439
営業外収益合計	3,341	4,062
営業外費用		
支払利息	2,504	1,717
リース解約損	894	-
株式交付費	-	3,603
株式公開費用	-	8,143
雑損失	798	352
営業外費用合計	4,196	13,816
経常利益	140,869	13,682
特別損失		
固定資産除却損	66	-
店舗閉鎖損失	1,756	-
特別損失合計	1,822	-
税引前四半期純利益	139,046	13,682
法人税、住民税及び事業税	50,297	5,192
法人税等調整額	6,494	4,151
法人税等合計	56,791	9,343
四半期純利益	82,255	4,339

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年11月26日付で、株式会社名古屋証券取引所セントレックスに上場いたしました。

株式上場にあたり、平成26年11月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式250,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ55,200千円増加しております。

また、平成26年12月25日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式37,500株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ8,280千円増加しております。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ63,480千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が188,800千円、資本剰余金が173,300千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日）

当社の事業は、スマートライフサポート事業のみの単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日）

当社の事業は、スマートライフサポート事業のみの単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。